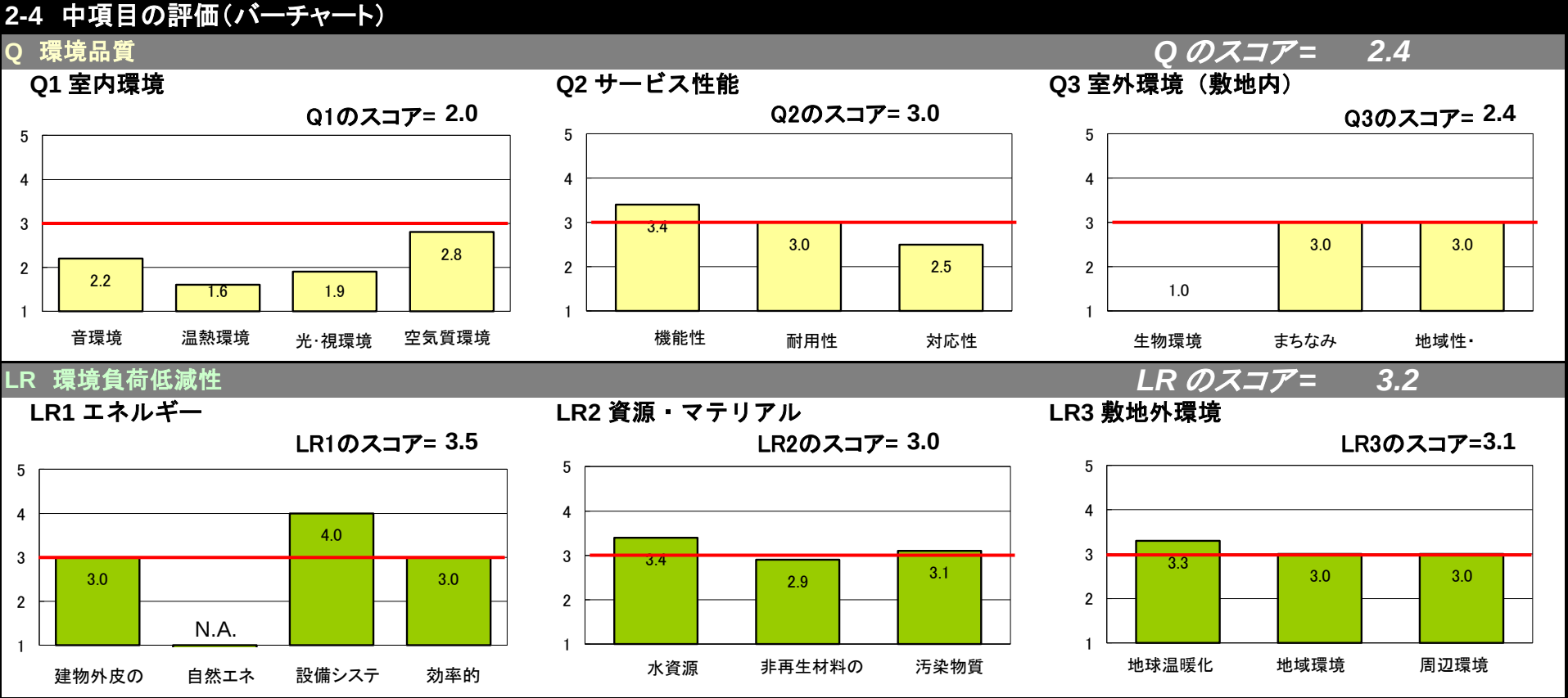
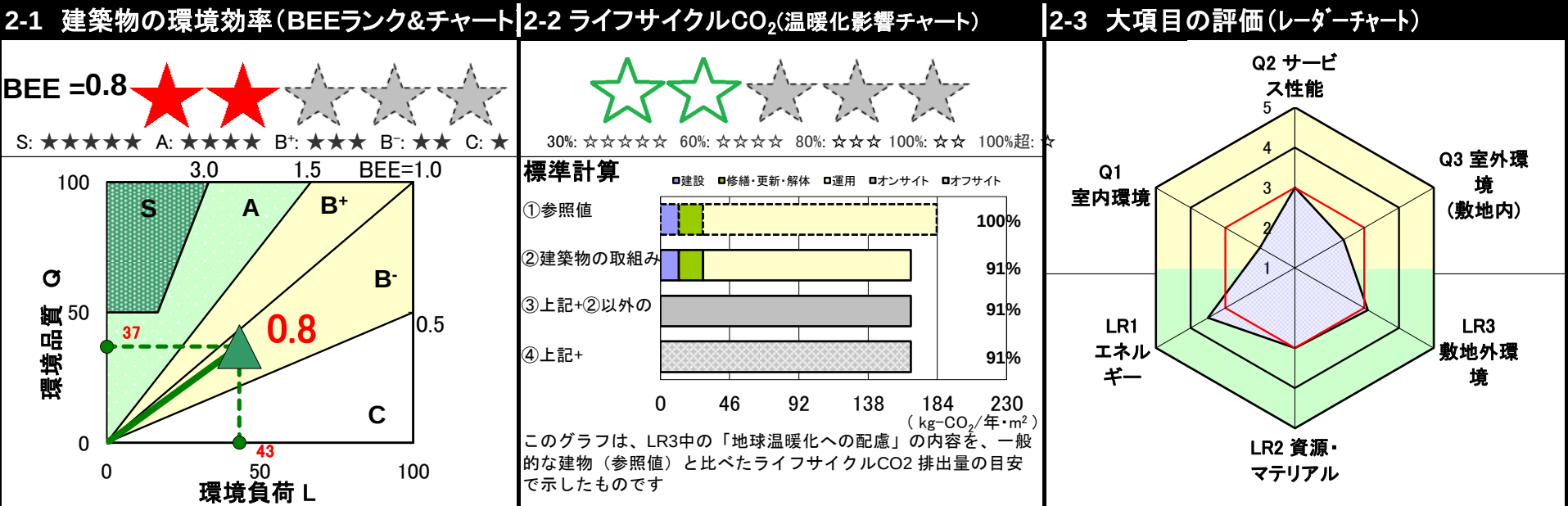


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島光明学園第二光明 新築	階数	地上10F
建設地	広島市東区牛田本町六丁目1505番	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	221 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年3月24日
敷地面積	2,000 m ²	作成者	村田友弘
建築面積	2,778 m ²	確認日	2017年3月24日
延床面積	6,040 m ²	確認者	梶本 正博



LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.1		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.4	スコア= 2.1	スコア= 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項
屋根の高断熱仕様の採用 / 雑用水に井水を採用 / 高効率熱源機器の採用 / 節水型洋風便器・小便器・節水コマの採用 / 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO ₂ の削減	/	建物全体のコンセプトや機能に配慮 / 建築設備の更新性の向上に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される